



九州北部豪雨被災地を応援！笠原棚田米のサポーターになります。

新日本製菓 株式会社（本社：福岡市、代表取締役社長：後藤孝洋）は、笠原地区（福岡県八女市黒木町）で里山保全運動を続けるボランティア団体『山村塾』が行う「笠原棚田米サポーター制度」を応援します。

平成24年7月14日に起きた九州北部豪雨で被害に遭った笠原地区（福岡県八女市黒木町）では、離農する住民や都会に住む子どものもとに身を寄せる住民が増え、過疎化に拍車がかかっています。そこで、農家が棚田で作るお米を5年間継続して購入してくれる人を募集する「笠原棚田米サポーター制度」を始めました。契約は、1年ごとで、1口（年間60キロ）4万5千円。サポーターには契約農家から、毎月5キロずつ棚田米が発送されます。山村塾によると、3年をめぐりにサポーターを300人に増やせば、被災前の50ヘクタールのうち、1割弱の棚田での米作りを支援できると言われています。

当社は、地元福岡の被災地を元気にする目的で、12月2日(月)から月々80キロの笠原棚田米の購入を開始。本社12階の社員食堂で調理し、社員に提供します。

これからも新日本製菓は、福岡の美しい棚田の風景とそれを守り引き継ぐ活動を応援してまいります。



笠原地区の農家の皆さん（11月5日初出荷を終えて）

新毎日

夕刊
9月24日(火)
2013年(平成25年)

社団法人 新日本製薬株式会社
〒902-8601 富山県富山市1-1-1
電話 0931-911111 FAX 0931-911112
毎日新聞掲載中

社会力を育てる
習小学生新聞
●発行所 新日本製薬株式会社
0120-468-012

NEWSLINE 094
原発汚染水の処分案
ブラックベリー一斉売り
世界もつる劇薬
西武・石井引退表明
「半沢」最終回40%超も

毎日JP <http://mainichi.jp>

近事録 2013.9.24
●富山県 富山県立富山高等学校
●富山県 富山県立富山高等学校
●富山県 富山県立富山高等学校

急募 棚田サポーター

富山県八幡町に広がる棚田は、美しい景観と豊かな食文化を育んでいます。この棚田を次世代に伝えるために、サポーターを募集しています。お茶の淹め方講座や、お茶の淹め方講座を開催予定です。

豪雨被害の福岡・八女

福岡県八女市は、豪雨による被害が深刻化しています。多くの農家が収穫できず、生活に大きな影響を受けています。支援活動が求められています。

都市住民と連携 「集落ぐるみ」目指す

都市住民と連携し、集落ぐるみの取り組みを進めています。地域活性化と持続可能な発展を目指しています。

この取り組みを通じて、地域住民の生活の質を向上させ、持続可能な地域社会を実現することを目指しています。



八女市八女町の棚田。この棚田は、美しい景観と豊かな食文化を育んでいます。

お茶の間学 I

生活情報部 FAX 092 (711) 9056 メール seikatsu@nishinippon-np.jp



米直接売買 農業変える？
米の淹め方講座を開催予定です。

米の淹め方講座を開催予定です。お茶の間学では、生活情報部が提供する様々なサービスについてご紹介します。

無農薬栽培や棚田保全も

無農薬栽培や棚田保全の取り組みが進んでいます。持続可能な農業と美しい景観の保全を目指しています。



八女市の棚田。美しい景観と豊かな食文化を育んでいます。



この件に関するお問い合わせ先

新日本製薬 株式会社 広報課

TEL : 092-720-5800 (代表) / 03-6837-1685 (東京オフィス)

e-mail : yatsuki-m@shinnihonseyaku.co.jp

URL : <http://corporate.shinnihonseyaku.co.jp>